



JAPAN COAST GUARD

Mobile Cooperation Team

フィリピン沿岸警備隊に対する能力向上支援 (活動概要)

- 1 日程
令和8年1月25日(日)～2月7日(土)
- 2 場所
フィリピン(マニラ)
- 3 派遣職員
海上保安庁 MCT (Mobile Cooperation Team) 3名
- 4 研修参加者
 - (1) フィリピン沿岸警備隊 (PCG) ダメージコントロール(火災)対応訓練指導要員9名
 - (2) フィリピン沿岸警備隊 (PCG) えい航訓練指導要員13名
- 5 活動概要

PCGのMRRV(多目的船: Multi-Role Response Vessel)の追加導入(ODA: 政府開発援助)にかかる支援継続の重要性を受け、同船の運用及び海上法執行等能力向上支援として、昨年6月から新たに日本国際協力機構(JICA)における「PCG海上保安能力向上技術協力プロジェクト」が開始されました。

MCTは同枠組みを通じて、PCG職員の訓練指導要員に対する多目的船のえい航、安全運航及び船舶火災におけるダメージコントロール(消火訓練、火災想定訓練)の能力向上支援を実施しました。

また、USCG MTT (Mobile Training Team) と今後の連携・調整を見据えた能力向上支援にかかる意見交換及びMTTの訓練を視察しました。

海上保安庁では、引き続き「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していくとともに、インド太平洋沿岸国への能力向上支援を推進してまいります。



ダメージコントロール（消火訓練）



ダメージコントロール（火災想定訓練）



えい航訓練
（44m型多目的船による高速パトロール艇のえい航）



USCG MTT との意見交換・訓練視察